

経済と文化 両輪で風を

浜松いわた信金本部棟 浜松・中央区

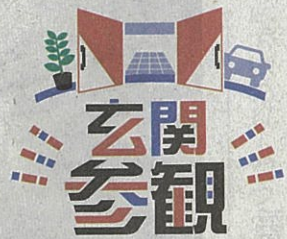
流れるように躍動する人々の群れ。生命の力強さを醸し出す色彩豊かな大作に圧倒される。昨年12月に完



建て替え後もロビーに飾られているステンドグラスの大作「人間回復」は、いずれも浜松市中央区の浜松いわた信用金庫本部棟で

の原画を基にした。福沢は「弥生時代の浜松人の生活を群像で表した」との説明を残す。

ガラス作品を飾っている。題名は「人間回復」。ステンドグラスを日本に広めた大伴三彌(1921-2006年)の作品だ。前衛美術の先駆者として文化勲章を受けた画家福沢一郎(1898-1992年)



「一目見ようと、大伴の出身地である富山県から訪ねる人もいたほど。ただ制作から半世紀がたち、建物と



ロビーで披露される「まちじゆ」の巡回展示の作品

浜松いわた信用金庫本部棟 地上10階建て、延べ床面積1万1685平方メートル。2019年からの建て替え中に仮本部を置いていた南側のビルや磐田本部からオフィス機能を集約した。22年10月に先行開業した新本店棟と統一した茶色い外観が特徴で、近くの浜松城公園にちなんで石垣を連想させるデザインも取り入れている。

会社の顔募ります

ユニークな玄関を構えた会社の情報を、自薦、他薦を問わずお待ちしています。左側帯のメールアドレスやQRコードを通じてお送りください。

ともに傷みが目立ち始めた。線を描く金属の枠は劣化し、ひび割れも見られた。老朽化に伴う本部の建て替えでは、「作品の保存も大前提だった」と御室健一郎会長は語る。枠を修復するとともに、むき出しだった表面をガラスで覆い、劣化を抑えるようにした。

芸術の薫りが漂う新棟のロビーは、新たな担い手にも開放している。4月から、障害がある人の作品を有償で貸し出すNPO法人アートコネクトしずおか(静岡市葵区)の活動「まちじゆアート」に協力。

「経済と文化は両輪。ともに人々の豊かさを示すものだから」と御室会長。地元根差した金融機関だからこそ、地域の活性化に追い風を吹かせたいとステンドグラスに誓う。(久下悠一郎)

2月電力需要 前年比0.5%減

中電管内5県

中部電力パワーグリッドが発表した2月の管内(静岡、愛知、岐阜、三重、長野)の電力需要実績は、前年同月比0.5%減の109億3400万キロワットだった。同社がデータを保有する2005年度以降で2月としては2番目に低かった。

気温が高めに推移し、暖房設備の稼働減少などが影響した。家庭や小規模事業者向けの低圧は、1.0%減の40億4300万キロワット。大規模事業者向けの高圧・特別高圧は0.2%減の68億9100万キロワットだった。

TOB成立の焼津水産 6月6日上場廃

焼津水産化学工業(焼津市)は8日、いなば食品(静岡市清水区)による買収に向けた株式公開買い付け(TOB)が成立したことを受け、6月6日に東証スタンダード市場から株式上場が廃止になる見通しだ。

ヤマハ子会社解散へ 米YUC、業績悪化

ヤマハは、米国で会議システム機器販売を手がける子会社ヤマハ・ユニファイド・コミュニケーションズ(YUC)を解散すると発表した。6月末に手続きを始める予定。YUCは、2005年に「レボラプス」として設立され、14年にヤマハが買収。18年にYUCに社名変更した。競争激化などにより業績が悪化し、解散が決

キャリア採用55人増 中電25年度計画 中部電力は、中部電力パワーグリッドと中部電力ミライズを含む3社の2025年度の採用計画を発表した。同年4月入社の一定期採用は前年度計画より5人増の95人。キャリア採用は前年度計画より5人増の445人、24人入社する「用」は55人増の100人増とした。

SDGs川柳 入賞者30人決定 浜松いわた信金

浜松いわた信用金庫が持続可能な開発目標(SDGs)をテーマに募集した川柳コンテストの入賞者30人が決まった。リサイクルから平和まで素朴な



思いを言葉にした作品が目立った。小学生、中高生、成人の3部で昨年10月~今年1月に募集。学校の授業や冬休みの課題として取り組むケースが多く、1300点を超える作品が集まった。「とくだよ 電気のムダを見つけるの」といった身近な心がけのほか、紛争や災害が絶えない中で「気づいてよ 身近な幸せ 無い子供」との訴えもあった。式典が3月23日に浜松市中央

不慣れな海域 お任せアプリ

ヤマハ発動機は、運営する会員制マリクラブ「シースタイル(Sea Style)」で、スマートフォン向けアプリで危険な海域などの情報を提供する航行支援サービスを開始。日清紡ホールディングス(東京)と提携して導入し、レンタルボート利用者の安心感を高める。



進入禁止エリアや釣りスポットを表示するタブレット端末の画面(東京都)

アプリ「JM-Safety」は、海難事故の撲滅を目指し、日清紡が開発した。衛星利用測位システム(GPS)を活用し、海域の特徴や船の位置などを表示する。利用するマリナーごとに専用の2次元バーコードを、アプリで読み取って使う。

アプリの地図上に、釣りに適した地点などの情報が表示され、浅瀬や定置網が張られている箇所など危険な場所も分かる。万が一、進入禁止の範囲に侵入した場合、利用者とマリナーの両方に通知される仕組みだ。

ヤマハ発×日清紡 ボート利用者支援へ

応じやすく、業務効率の改善につながる。シースタイルは、ボートや水上オートバイをレンタルできる会員制クラブで、全国約140カ所の提携マリナーがある。ヤマハ発は、このうち、浜名湖や沼津など全国8カ所で、5月からアプリの運用を開始。今後、全国のマリナーに順次広めていく方針だ。

シースタイルの会員数は、23年12月時点で約3万人。係留費や維持費が不要で、保守管理の手間もかからない利点がある。新型コロナウイルス禍では、密を避けられるレジャーとしてボートの新規免許取得者が増えたことも追い風となり、船を所有しないユーザーや初心者の人気を集めた。

静岡けいざい



情報をお寄せください s-keizai@chunichi.co.jp

特集 アフターコロナの 献活